

# 木更市制施行80周年記念事業実行委員会会議録

令和4年7月19日作成

会議名	第3回 木更津市制施行80周年記念事業実行委員会		
開催日	令和4年7月13日(水)	場所	駅前庁舎 防災室・会議室
時間	13時30分～15時00分まで		
出席者	実行委員会委員) 別紙名簿のとおり 部会等説明者) 別紙部会等説明者一覧のとおり 事務局) 企画部：渡辺企画部次長、水谷企画課長、影山企画課長補佐、平野主任主事		
議題	(1) 事業計画の変更について (2) 補正予算案について		
その他	(1) 各事業の進捗状況について		
配付資料	会議次第 資料1 木更津市制施行80周年記念事業計画の変更について 資料1-2 事業計画一覧【実行委員会実施事業】 資料1-3 実行委員会規約新旧対照表 資料1-4 木更津市制施行80周年記念事業実行委員会 部会一覧 資料1-5 市制施行80周年記念事業(3Rイベント) 資料2 収支予算書(案) 資料3-1 事業の進捗状況資料(式典部会) 資料3-2 事業の進捗状況資料(未来ビジョン部会) 資料3-3 事業の進捗状況資料(プロモーション部会) 資料3-4 事業の進捗状況資料(RUNイベント部会) 資料3-5 事業の進捗状況資料(CYCLEイベント部会) 資料3-6 事業の進捗状況資料(きさらぶコレクション部会) 資料3-7 冠称事業承諾申込一覧 資料3-8 事業計画一覧(市実施事業・市民実施事業) 資料3-9 事業の進捗状況資料(木更津市みなとぐちアートプロジェクト2022) 資料3-10 事業の進捗状況資料(チャレスポ in KISARAZU)		
概要	議題(1) 記念事業計画(案)について 【説明】 ●水谷企画課長説明 (資料1～資料1-4に沿って説明) 前回の実行委員会において、吉田委員より「環境についての配慮」としての一言があったほうが良いとの要望があったところである。 そこで、庁内において改めて本要望を検討したところ、「環境について」の事業を新たに展開するべきとの結論に至り、今回計画に事業を追加したいと考えている。 部会の名称としては、「3Rイベント部会」である。部会長に、環境部長を充て、副部会長には環境部次長、企画部次長を充てる。庶務担当課は、まち美化推進課が担当する。事業概要としては、環境問題を通して、リサイクルの本質を体験するイベントの実施に関するもので、来年1月22日(日)に「キッズリサイクルデイ」を開催する。 事業の詳細については、環境部から説明する。 ●植野部会長説明 (資料1-5に沿って説明) 3Rイベント部会については、今回の実行委員会で初めて説明することとなるが、本イベントは、80周年を契機に、100周年を見据え、将来を担う子供たちに多く参加いただき、その家族とともに、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを実践してもらうことを考え、小学校中学年から高学年ターゲットとして実施しようとするものである。 イベントは二部構成で考えている。第一部は、体験型イベントとして、子供たちによる子供たちのためのキッズフリーマーケットの開催である。リユースの意識を高め		

るとともに、お金のリテラシーやコミュニケーション力が学べるような仕組みとする。

また、SDGsの観点から、エコノミー（経済）とエコロジー（環境問題への取組）について習得していただくことを考えている。

第2部はセミナーとグループワークである。内容としては、海洋プラスチックと環境問題～海の未来・木更津の未来～と題し、子供たちにとって興味を持ちやすい実験などを取り入れたセミナーや身近にあるプラスチックを持ち寄り、子ども自身が主体となるグループ学習、取りまとめを発表することで深い学びとつなげていく。

予算については、約70万円を予定している。

日時は令和5年1月22日（日）、場所はイオンモール木更津のサウスアトリウムを予定している。現在、キッズフリーマーケットについては、全国的に実績がある事業者へ委託しようと考えているが、イオンモール木更津のサウスアトリウムで実施した場合、20ブース程度しか確保できないとのことである。一方で、イベント当日は800人を超える来場者が見込まれるため、サウスアトリウムより広い会場での実施を検討しているところである。会場が変更になった場合、日程も変更となる可能性がある。

**【質疑応答・意見等】**

特になし

**【審議結果】**

原案のとおり承認

**議題(2) 収支予算案について**

●水谷企画課長説明

(資料2に沿って説明)

まず、収入として、今年4月に株式会社佐久間様から本市に対して80周年記念事業への活用を目的に、500万円の寄附があったことに伴い、本寄附金を80周年記念事業の実施委託にかかる受託金として全額増額するものである。

次に、支出として、各事業費の過不足の見込額についてそれぞれ調整を行った。

運営費は実行委員会事務費60万円の減額である。主な要因として、当初想定していた市民実施イベント開催に伴う移動手段を確保する必要がなくなったことによるものである。

次に、事業費として、(1)式典部会費28万円の増額である。主な要因として、記念式典に参加できない方など、多くの方が式典をご覧になれるよう、映像配信の実施。また、記念品に使用するとともに、今後、市のプロモーションに活用可能なデザインを創り上げるため、そのデザインを市内の子どもたちに手掛けてもらう経費を計上するものである。次に、(2)未来ビジョン部会費72万8千円の増額である。主な要因として、「きさらづ未来会議」を通じ、未来ビジョン策定の議論を効果的に進めるため、物理的かつ時間的な拘束を受けず、垣根なく情報共有・交換ができ、広く多くの人の意見を集め、合意形成のプロセスへ参加可能なプラットフォームを導入しようとするものである。次に、(3)プロモーション部会費24万9千円の増額である。主な要因として、市制施行80周年を記念した楽曲を制作しようとするものである。次に、(4)RUNイベント部会費及び(5)CYCLEイベント部会費については、増減はない。次に、(6)きさらづコレクション部会費364万3千円の増額である。主な要因として、生地など衣装制作に係る経費や、当日MCやメイクなどで従事するスタッフなどが身に着けるTシャツを作成しようとするものである。なお、市民の方をはじめ、地域や企業、本市を応援したいと思う方々の賛同を集め、本市への愛着や誇り(シビックプライド)の醸成につなげることを目的に、今年度採用された市職員による研修の一環として、クラウドファンディングを実施することとしており、クラウドファンディングで集めた協賛金を衣装の制作経費に充てる予定である。計画期間は8月下旬から10月下旬の2か月間とし、目標金額は330万円である。

次に、(7)3Rイベント部会費70万円の増額である。先ほど承認いただいた、3Rイベント部会にて実施する「キッズリサイクルデイ」のイベントの開催に係る経

費を想定している。

以上、歳入、歳出ともに500万円の増額で、補正後の予算としては、3千500万円の収支予算となっている。

【質疑応答・その他意見等】

① プロモーション部会費の中に、記念誌等制作400万円を計上しているが、記念誌は何部作成予定なのか。

→ 1500部を予定している。

【審議結果】

原案のとおり承認

【その他 各事業の進捗状況について】

(1) 式典部会

●伊藤部会長説明

(資料3-1に沿って説明)

市制施行80周年記念式典については、11月3日(木)、午前10時からかずさアカデミアホールにて開催する。

式典は、記念事業の取組方針である「1 シビックプライドの醸成」、「2 未来ビジョンの共有」、「3 パートナーシップの実現」のうち、特に、「3 パートナーシップの実現」を念頭に、簡素に実施する中にも、心のこもった式典にしたいと考えている。

式典の内容については、市内の中学2年生の方の司会進行のもと、小学6年生による「開式のことば」で始め、市長式辞、市議会議長挨拶、市政に功労のあった方への表彰、来賓祝辞及び紹介、祝電披露と進めたいと考えている。次に、「未来ビジョン発表会」として、未来ビジョン部会で進めている「きさらづ未来ビジョン」を披露していただくことを考えている。次に、海外の友好都市の首長等から頂いたビデオレターを紹介し、アトラクションとして、木更津第一小学校児童による「証城寺の狸ばやし」を披露していただく。最後に、司会進行とは別の児童による、「閉式のことば」で式典を締めたいと考えている。

所要時間は、開式から閉式まで、約70分を想定しており、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、式典の始まる前と後に、記録映画を放映し、密を避けていく。

参加人員についてだが、かずさアカデミアホールの収容人員は、約700名のため、密を避けるため、半分の350名の参加を想定している。内訳として、市政功労者が約250名、千葉県知事、国会議員、県議会議員、近隣市長などの来賓、学校関係者、ふるさと応援団、庁内各部署からの推薦のあった方などの招待者、約100名の合計350名と考えている。

配布物として、市政功表彰者については、表彰状、筒のほか、エコバッグ、記念誌、記念品であるマグカップ、お菓子を配付する。来賓・招待者には、エコバッグ、記念誌、お菓子を配付する。お菓子については、障がいのある方の就労継続支援作業所である、地域作業所「hana」製作によるもので、障害のある方にも、間接的に式典に参加していただけるものと考えている。

今後の予定だが、8月上旬に市政功労表彰者を決定、同下旬には、招待者を決定し、順次式典の案内をするとともに、配付物の制作を進めていく。式典前日の11月2日(水)には、リハーサルを実施する。

その他として、式典開始前には、ロビーにて清川中学校弦楽部による演奏、式典閉式後に木更津第二中学校吹奏楽部による演奏で、お出迎え、お見送りを予定している。

また、マグカップ・エコバッグには、木更津第一小学校・真舟小学校の一年生の児童が、「みらいにのこしたいもの」、「みらいにあったらいいもの」をテーマとして描いてもらった約230枚の絵を組み合わせたデザインをプリントする。このデザインを市では、「きさらづパレット」と呼んでいるが、今後、これを市のシティプロモーションに活用していく。なお、マグカップ・エコバッグは、環境に配慮した素材で作成する。

当日、来場者に配付する式次第については、表彰者の氏名を全面に出した「広報き

さらづ」号外の体裁として作成する。

資料の2ページをご覧ください。

先ほど説明した「きさらづパレット」のイメージ図である。

木更津第一小学校、真舟小学校の一年生の児童のみなさんによる約230枚の絵を寄せ集めて、デザインしきさらづパレットとする。このきさらづパレットをマグカップやエコバッグにプリントする。

次に、式次第のイメージ図だが、式次第の1面、図では「読売太郎さん完走」となっている部分を、「〇〇さん、市政功労表彰おめでとう！」というような文言にして、式典が終わった後にも、記念に残していただけるようなものを作成していく。

#### 【質疑応答・意見等】

- ① マグカップやエコバッグに使用されるデザインは木更津第一小学校と真舟小学校の児童のみなのか。また、どのように学校を決めたのか。

→ 教育委員会と相談した上で、木更津第一小学校と真舟小学校のみの児童とした

- ② 木更津市民（子どもたち）にとって、80周年記念式典にというお祝いのイベントに参加したんだというのは、とても大きな出来事になると思うため、こういったお祝いに参加できるチャンスがもっとあればいいのではないか。（意見）

#### 【審議結果】

原案のとおり承認

#### (2) 未来ビジョン部会

##### ●石井部会長説明

(資料3-2に沿って説明)

未来ビジョン部会では、木更津市が市制施行100周年を迎える20年後の2042年を見据え、多くの方に「住みたい」、「住み続けたい」、「働きたい」、「訪れたい」と実感していただくため、まちの未来像とその実現に向けた道筋を描き、市民と共有することにより、持続可能なまちづくりの実現をめざすことを目標として、市内在住、在勤、在学で、高校生から45歳までの様々な分野で活躍し、次代のまちづくりをけん引していただきたい世代の方を対象に、未来の木更津市がどのようなまちであってほしいかを考える「きさらづ未来会議」を開催している。

この会議は、5月から8月までに、5回程度のワークショップを開催し、様々な世代の参加者がグループに分かれ、まちづくりに関する意見を出し合いながら、それを取りまとめていく形で進めている。

第1回は、5月28日（土）に開催し、「きさらづってどんなまち？～木更津の良さを見つめ直す～」をテーマに本市の魅力を話し合い、本市の現状や取組のほか、世界の動きなどを学んでいただき、「木更津がどんなまちになるとよいか」のビジョン案を出してもらった。

第2回は、6月18日（土）に開催し、「これから、きさらづに起きること～木更津市がめざす未来像を考える～」について、本市の未来を予測し、話し合い、第1回で出されたビジョン案の達成に向けて、課題の洗い出しを行った。

第3回は、7月9日（土）に開催し、「次のきさらづをどう描く？～木更津市を取り巻く変化を予測する～」について、ビジョン案に沿って、「めざす未来」を考え、第2回で出た課題を踏まえ、必要な取組を話し合った。

第3回からは、第2回までに整理したビジョン案を達成するため、課題解決に向けた取組をビジョン案ごとにグループ分けし、具体的に検討していただいている。ビジョン案については、資料4ページに掲載しているが、この7つのビジョンテーマについて、未来会議で取り組んでいただいている。

なお、木更津に愛着と誇りをより深めていただくため、きさらづ未来会議の参加者の方だけでなく、より多くの市民の皆様にも、「きさらづ未来ビジョン」の策定に関わっていただきたいと考え、試験的に新しい手法として、DXを活用した市民合意形成プラットフォーム「リクリッド」を導入するものである。リクリッドは、オンライン上にきさらづ未来会議の検討プロセスを共有できる環境を用意し、物理的・時間的拘

束を減らしデジタルを活用することで、誰でも自由に参画できるシステムとなっている。登録手続きの手間があるが、委員の皆様にも、資料3ページに記載のQRコードからアクセスいただき、忌憚のないご意見等をいただければと存じます。

今後の予定だが、次回の会議は7月30日(土)を予定しております。「未来に続く地図を描こう!~未来像実現への道筋を考える~」をテーマに、ビジョンとして取りまとめを行うこととしている。

最後になるが、きさらづ未来会議は、最終的に、「めざすべき木更津市の未来像(20年後の木更津市の姿)」を作成し、木更津市への提言書として取りまとめ、提言内容を11月3日(木)の記念式典において会議参加者に発表していただく予定としている。

なお、リクリッドというシステムについては、ある議題に対し、今までにどんな意見が出たか確認することができたり、チャット機能も備えているため、私はこのように考えているという意見を発信することも可能なものである。

#### 【質疑応答・意見等】

- ① リクリッドについて、自由に多くの方から意見をいただけることは非常に大きなメリットだが、同時にリスクもあるということである。このようなシステムを活用するにあたり、利用者にどのように活用してもらいたいかというこちらの本意をどのように伝えるか。どのように管理をしていくのか伺いたい。
- 誹謗中傷のような意見などがあった場合については、管理者として、そういった意見を投稿された方に連絡をした上で、投稿を非表示にするといった対応など、適切に管理をしていきたいと考えている。

#### (3) プロモーション部会

##### ● 重城部会長説明

##### (資料3-3に沿って説明)

記念誌等制作事業費について、木更津市の「これまでの歩み」と100周年に向けた「これから」の展望を一冊にまとめ、この記念誌を通じて、市民のふるさとへの愛着や誇りシビックプライドの醸成を図るとともに、未来を見据えた新たなまちづくりのビジョンを市民と共有し、更には木更津市の魅力のPRにつなげるものとして制作する。

仕様については、A4版24ページ程度でフルカラー、発行月は11月である。部数は1,500部を予定しており、11月3日(木)の記念式典の来場者に配布し、その他については、朝日庁舎や各公民館、また、イベント時に配布をする予定である。

また、データでの納品も予定しており、インターネット上でも閲覧できるようにする。

制作は、公募型プロポーザル方式で委託事業者を選定し、6月10日(金)に事業の公告を市ホームページ上で行い、7月8日(金)に選定委員会を開催し、事業者を決定する予定で、スケジュール通り進んでいる。

市勢要覧については、今年度、株式会社ゼンリンと協働発行する「暮らしの便利帳2022」にページを増設して発行する。内容としては、木更津市のこれまでの歴史を年表にまとめたものやオーガニックなまちづくり、食育に関することなど市の主な取り組みを掲載した市制施行80周年特集ページとして設ける。市勢要覧部分に関しては、実行委員会予算で対応し、仕様は、A4版8ページでフルカラー、発行月は9月で10月には市内全戸に配布する予定である。制作状況は、現在校正作業を行っており、発行に向けてスケジュール通り進んでいる。

記念きさポン・ロゴマーク制作については、市マスコットキャラクター「きさポン」を使用した80周年記念ロゴマークを制作し、80周年の周知やPRに広く活用しているところだが、更なる80周年の統一的な機運醸成を図るため、各部会をはじめ、庁内各課等へ積極的な使用を呼びかけていく。

また、80周年記念ロゴマークに市の花「サツキ」・市の木「ツバキ」のデザインを取り入れた画像素材や80周年記念ロゴマークをデザインに取り入れたきさポン用のタスキも制作した。画像素材については、市ホームページや、らづナビのカルーセル部分に掲載し、タスキについては、きさポンの登場時にタスキを掛け80周年の

周知を図っていく。

記念品については、式典部会で制作するエコバックとマグカップの購入を想定している。記念品の使用場面としては、未来会議やファッションショーをはじめ、80周年事業に協力いただいた方々へ渡すことを考えている。その他、イベント時や行政視察時にも配布したいと考えており、日本郵便株式会社から80周年記念切手・小型印の作成の提案があったため、本市に費用負担がないことや80周年の記念品として適当であることから現在作成を進めている。

記念動画については、80周年記念事業の取組方針を踏まえ、「これまで」の歩みと「これから」を結ぶという基本理念に沿って、木更津の過去編・現在編・未来編の3構成で、シビックプライドの醸成・未来ビジョンの共有・パートナーシップの実現を目指した内容で制作する。動画の時間としては、各編約5分間、全15分～20分程度の予定であり、10月20日（木）までの完成を予定している。11月3日（木）の記念式典で公開したのち、市公式YouTubeチャンネル「きさらづプロモチャンネル」で公開する予定である。

記念楽曲については、市制施行80周年を記念した楽曲を制作する。制作は、木更津ふるさと応援団であり、シンガーソングライターのイシワタケイタ氏、松本佳奈氏の両名に協力をいただく。制作した曲は、記念動画内で流すことなどを想定しており、当初での予算措置がないため、補正予算での対応をしたいと考えている。

【質疑応答・意見等】

特になし。

#### (4) RUNイベント部会

##### ●鶴岡部会長説明

(資料3-4に沿って説明)

RUNイベント部会では、市制施行80周年を迎え、市がこれまで積み上げてきた「スポーツを通じたまちづくり」を、さらなる飛躍の基盤とするため、地域の様々な主体とのパートナーシップを図りながら、スポーツを通じた地域ブランドの向上をめざすべく、毎年開催している「木更津ブルーベリーRUN」に合わせたイベントを、令和4年11月20日（日）に開催する。

市が取組を進める「オーガニックなまちづくり」に共感し、スポーツを通じた地域活性化を団体活動理念とする「きさらづスポーツコミッション」や、市と連携し、地域経済の活性化や様々な地域課題の解決に取り組む「ポルシェジャパン株式会社」とパートナーシップを図り、さらなるスポーツを通じた地域ブランドの向上をめざす。

木更津ブルーベリーRUNについては、昨年度同様ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京にて開催予定である。

資料2ページをご覧ください。

RUNイベント部会の事業についてだが、著名人2名～10名の1チームを作ってもらい、ブルーベリーRUNに参加していただく、RUNイベントを実施する。

木更津名産のブルーベリーを味わうことができるFUNランの要素を持つ木更津ブルーベリーRUNに、著名人をゲストランナーに招き、FUNの要素を強くすることで、一層盛り上げ、ブルーベリーRUNのブランド力向上を後押しする。

続いて、資料3ページをご覧ください。

企画の詳細についてだが、第1案として、テレビ番組とのタイアップを企画している。市民ランナーに知名度があるNHK BSのテレビ番組「ランスマ倶楽部」に出演者の派遣を依頼している。テレビ番組ランスマ倶楽部では地域の各マラソン大会に出演者が参加する企画を放送しており、ブルーベリーRUNをこの番組で取り上げてもらうことで、木更津市や大会の知名度・ブランド力の向上をめざす。

なお、現在、NHKとタイアップに向けて、交渉中である。

続いて、資料4ページをご覧ください。

第2案として、吉本興業に、ブルーベリーRUNへの参加を依頼している。吉本興業は、お笑い芸人等のマネージメント事業にとどまらず、持続可能な開発目標SDGsに賛同し、笑顔につながる活動を通じて、より良い国際社会の実現に貢献している企業であり、近年は、国連と連携し、SDGsに関する動画の制作や、外

務省とともに国際協力・開発協力の現場を舞台にしたドラマを制作するなど、行政との連携実績も豊富な企業である。吉本興業の所属タレント・アスリートがブルーベリーRUNに参加し、それを番組に取り上げてもらうことや、日本を代表するエンターテインメント企業である吉本興業が持つ幅広い放送網、活動領域を活かして、木更津市や大会の知名度・ブランド力の向上をめざしていく。

なお、現在、出場していただくタレント等は検討中である。

最後に、資料5ページをご覧ください。

本イベントの予算についてだが、180万円を予定している。

また、今後のスケジュールだが、9月までに、NHK、吉本興業と交渉し、10月を目途に、内容の調整や詳細準備を行い、その後、ブルーベリーRUNの主催者であるきさらづスポーツコミッション、ポルシェジャパンを含め最終調整を行う予定である。今後は、実行委員会の基本方針である市民とのパートナーシップの実現に向け、様々な主体が記念事業に参画し、交流の輪が広がるよう、本イベントについて、検討・実施していく予定である。

#### 【質疑応答・意見等】

特になし。

#### (5) CYCLEイベント部会

##### ●佐伯部会長説明

(資料3-5に沿って説明)

本部会では、市制施行80周年を契機として、サイクルツーリズムに対する機運の醸成を図るため、きさらづスポーツコミッションと連携し、サイクルイベント「ライドハンターズin木更津」の開催に向けて、準備を進めている。

イベントの内容は、1人から5人程度までの参加者で構成されたチーム単位でエントリーしていただき、参加者は事務局から配布する「MAP」に示された数々の「スポット」をめざし、自転車で市内を回遊しながら、制限時間内に獲得した総得点を競うものである。

得点を獲得する方法は、「スポットに到着する」、「スポットで与えられたミッションをクリアする」、「スポットでフォトジェニックな写真を撮る」など様々で、チームで走行するコースなどの作戦を立て、メンバーが協力して楽しむことのできるサイクルイベントとなっている。

勝敗を分かつのは、「どれだけ速く走れるか」ではなく、「戦略・体力・時の運」としております。

開催日については、10月1日(土)としており、小雨決行としているが、荒天の場合については、翌日に順延する。当日は、8時半から受付を開始し、開会式やコース試走の後、午前10時のスタートを予定している。制限時間は4時間30分とし、午後2時半終了となり、その後、表彰式・閉会式を行い、午後4時半に全て終了となる予定である。

発着場所については、「ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京」発、「かずさアカデミアホール」着である。ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京については、世界で9番目、日本では初となるスポーツライビング及びブランド体験施設であり、昨年10月1日に本市伊豆島にオープンした施設である。今回のイベントでは同センターの1周年記念とタイアップし、特別にスタート会場として提供していただいたものである。

参加者は、通常自転車で走ることのできない全長2.1キロのトラックを、ペーサーの誘導のもと、試走することが可能で、非常に貴重な機会となっている。また、閉会式を行うかずさアカデミアホールでは、参加者から送信された様々な写真をスクリーンに表示させ、参加者間の交流を図る予定としている。設定するスポットは約100か所を予定しており、参加チーム数は80組を定員とし、250名程度までの参加を受け付ける予定である。

なお、参加資格は小学生以上としている。参加費は一般が3,000円、木更津市民は1,500円、高校生以下は1,000円を予定している。

本イベントについては、市制施行80周年記念事業実行委員会ときさらづスポー

ツコミッションとの共催により、実施していく予定としており、8月1日(月)発行の広報きさらづに掲載し、8月中旬からホームページ上で応募を受け付ける予定である。

【質疑応答・意見等】

特になし。

(6) 木更津コレクション部会

●秋元部会長説明

(資料3-6に沿って説明)

始めに本イベントの趣旨については、シート①をご覧ください。資料のとおり、80周年記念事業の取組方針に基づき、3つのねらいを設定している。

続いて開催概要について、シート②をご覧ください。本イベントの正式名称を、「KISARAZU COLLECTION 2022～ORGANIC CITY KISARAZU FASHION SHOW～」として、テンボデザイン事務所デザイナーの鶴田能史氏プロデュースのもと、木更津市在住・在学の小中学生が、モデル・MCとして参加するファッションショーを開催する。

開催日は令和4年11月3日(木)市民の日、会場は鳥居崎海浜公園とし、時間は15時30分から17時を予定しており、入場は無料、観覧自由とする。

屋外開催のため、荒天の場合は11月12日(土)に延期し、12日(土)も荒天により屋外での実施が難しい場合は、金田地域交流センター多目的ホールにて屋内開催へ変更する。プロデューサーの手配により、ゲストにタレントのはるな愛氏を迎えることを決定している。

また、音楽は拓殖大学紅陵高校の吹奏楽部の生徒による生演奏を予定しており、プロデューサーと吹奏楽部の顧問の先生との打ち合わせが進んでいる。

シート③をご覧ください。ファッションショーのテーマを「木更津の未来に残したいもの」として、出演するモデル、MC、衣装のデザイン案を市内在住・在学の小中学生から募集した。5月16日(月)からインターネットの特設ページにて募集を開始し、6月5日(日)に終了した。募集の周知方法については、プロデューサーが作成したファッションショーの説明動画を、各小中学校で視聴していただいた上で、募集要項のQRコードを記載したチラシを市内全小中学生へ配付した。

シート④をご覧ください。モデル130名、MC15名、デザイン案60作品の応募をいただき、採用候補者を3回の選考委員会の中で選出した。最終的に学校や学年、性別や多様な個性のバランスを考慮し、プロデューサーによってモデル30名、MC3名を決定し、6月14日(火)に採用決定者にはメールで通知した。

シート⑤をご覧ください。6月25日(土)には、モデル・MC採用決定者の説明会を富来田公民館多目的ホールにて開催した。説明会では、プロデューサーの鶴田氏からのファッションショーの説明、モデル・MCが着用する服の採寸を行った。J:COMの撮影により、8月の「オーガニックシティきさらづ」で放送される予定である。

モデル・MCの本番までのスケジュールについては、シート⑥のとおり、10月1日(土)に桜井公民館でウォーキングレッスン、10月29日(土)には事前リハーサルを桜井公民館で行うことが決定している。

シート⑦の衣装のデザイン、制作については、プロデューサー鶴田氏の指導のもと、木更津東高校の生徒が行うこととなっている。7月から10月にかけて、全9回の鶴田氏による特別授業が予定されており、モデル一人一人の個性や好みに合わせた衣装がデザイン制作される。

当日の流れについては、シート⑧をご覧ください。現時点での予定になるが、14時50分から15時20分までがオープニングアクト、15時30分から開会式、15時40分から、はるな愛氏によるパフォーマンス、15時50分から約40分間のファッションショーになる。その後、渡辺市長、はるな愛氏、プロデューサー鶴田氏による、木更津のみらいをテーマとしたトークショーを予定している。その後、出演者全員によるフィナーレをもって、17時閉会の予定となっている。当日の来場者数については、約200名を想定しており、ウッドデッキを利用した特設ステージ前にはパイプイスを70脚設置する予定である。現在、テンボデザイン事務所の作成する特設ページで、オープニングアクトに出演するパフォ

ーマー募集を8月5日(日)まで行っており、プロデューサーと事務局にて3~4組のパフォーマーを選出する予定である。パフォーマンスの内容は問わず、市内の人材が生かせる場になればと考えている。

【質疑応答・意見等】

特になし。

【冠称事業承諾一覧】

●水谷企画課長説明

(資料3-7、資料3-8に沿って説明)

資料3-7をご覧ください。

前回の実行委員会のあった4月20日(水)から本日までの間で、8件の冠称事業の承諾申込があり、すべて定めた要件を満たしていることから、承諾をしているところである。

冠称事業に関しては、冠称事業実施要領第9条にて、実行委員会会長は積極的な広報を行う等の可能な協力を行うこととしている。

現在、広報の手段としては、広報きさらづや市ホームページへの掲載などを行っているが、併せて、活動場所が市の管理する施設等であった場合、使用料の減免等の配慮をするなどの協力を、各部署に対して依頼しているところである。

今後も80周年の機運を盛り上げるべく、さらに周知や働きかけを継続していきたい。

次に、資料3-8をご覧ください。

承諾した冠称事業8つを含め、現在、市実施事業が22事業、市民実施事業が28事業となっている。現時点での事業スケジュールなどを資料にまとめている。市民実施事業については、一部、既に中止、もしくは他のイベントと一緒にあったというものが、一覧上の記載は30となっている。

次に、市が予算を負担して、実施する主要な事業として、「木更津みなとぐちアートプロジェクト2022(MINART(ミナート))」と「チャレスポ in KISARAZU」についての状況報告をさせていただくため、それぞれイベントの開催を担当する部署よりご説明申し上げる。

(1) 木更津みなとぐちアートプロジェクト

●小高文化課長説明

(資料3-9に沿って説明)

このアートプロジェクトは、子どもたちを中心にする市民と、現代アートを専門とする11人のアーティストが、共に「考える・つくる・見せる」ことを学びながら作品を制作する出前ワークショップと、ワークショップで制作した作品や、アーティスト自らが木更津をイメージして制作する作品を展示する展示会を開催する。展示場所は、木更津駅西口から木更津港にかけて、10カ所程度の場所で、期間は11月17日(木)から12月4日(日)の18日間を予定している。出前ワークショップを実施する学校は、事前に学校へ募集し、応募があった小中学校10校に、木更津総合高等学校1校で、6月から実施している。日程及び訪問するアーティストは資料のとおりで、6月に真舟小学校と鎌足小学校、今月は暁星国際小学校、富来田小学校で行い、本日も、清川中学校で行っている。資料の実施日時を塗りつぶしてある学校が実施したところで、残る学校は9月以降を予定。

出前ワークショップの内容については、真舟小学校の2年生の児童154名、保護者ボランティア19名が参加し、「海のゴミで宝物を作ろう」と題して、不要になったペットボトルなどを使ってアクセサリ作りを行った。

鎌足小学校は、3・4年生の児童24名、保護者ボランティア1名が参加し、「旗を作ろう 街の元気と未来をつなぐ旗」と題して、子どもたちが布の上に横たわり、そのポーズを旗に書き写して好きな色付けをした。

暁星国際小学校は3回に分けて行い、4年生46名、5年生25名、6年生21名、保護者16名が参加し、「のびる手鏡、光明寺菩薩さまの空」と題して、変形するプラスチックミラーに絵を描き、太陽の光を反射させ、ミラーを変形させながら絵を壁

に映しだした。

富来田小学校は6年生33名、保護者ボランティア4名が参加し、「線で心を結ぶ 絵画」と題して、横2メートル縦1メートルの大きなボードに、児童1人ずつが1本の線をつなげて描き、画面を埋め尽くしていく、遊びながら作品を作り上げていった。

清川中学校は、本日、美術部の生徒たちと部活動の中で開催し、「ガラスはキャンバス」と題して、昇降口のガラス戸や窓に、クレヨンを使って大きな絵を描く予定である。このほか、広報活動として、アートプロジェクト専用のホームページを開設し、市HPの80周年記念事業からも見られるようにしている。

## (2) チャレスポ in KISARAZU

### ●阿津スポーツ振興課長説明

(資料3-10に沿って説明)

スポーツ振興課では、市制施行80周年を記念し、「初挑戦」をキーワードに、主にこれからスポーツを始めたいと思っている小学生とその保護者を対象に、各種スポーツを体験してもらおうイベント「チャレスポ in KISARAZU」を、12月10日(土)、11日(日)に開催する。スポーツに「チャレンジ」する機会と楽しむ場を提供し、子どもたちにスポーツをする楽しさや喜びを知ってもらうことで、スポーツ好きの子どもを増やし、地域のスポーツ活動の促進を図るとともに、地元スポーツ関係団体等との連携や市民同士の交流を図り、スポーツを通じたまちづくりを進めることを目的に実施する。

また、オリンピック種目やパラスポーツの体験等を取り入れることにより、市民のスポーツへの関心を高めることもめざす。

イベントの開催場所は、江川にあるオーエンス陸上競技場や市民体育館など、市内体育施設での開催を予定している。

資料2ページをご覧ください。

イベントの概要としては、市内体育施設を使って、子どもたちが、スポーツを始めるきっかけとなり、継続して取り組めるような、親子参加型のスポーツ体験教室を開催する。また、昨年夏に開催された東京2020オリンピック競技大会で注目を集めたスケードボードや3×3など、オリンピックで実施された種目が体験できる教室も開催する。そのほか、事前申込なしに当日誰でも、スポーツを体験できるブースを設置し、競技スポーツに限らず体を動かすことを楽しめるようなイベントとし、ボッチャなどのパラスポーツの体験もできるようなイベントにする。

続いて、資料3ページをご覧ください。

イベントの実施に向けた契約方針についてだが、本イベントの実施には、専門性と経験が求められ、今後の市のスポーツ振興に係る重要な事業のため、公募により広く事業提案してもらい、事業者を選定する公募型プロポーザル方式により、事業者の選定を行う。このプロポーザルの実施スケジュールについては、6月20日(月)から公募を開始し、2者から提案希望があった。今後は、7月27日(水)にプロポーザル審査会を行い、委託事業者を決定していく。このチャレスポ in KISARAZUの実施にあたり、各種スポーツ団体と連携したパートナーシップを重視し、木更津市の子どもたちが、スポーツを始めるきっかけとなって、継続して取り組めるようなイベントにしていく。

### 【質疑応答・意見等】

特になし。

(事務局より)

・次回委員会について

令和4年10月5日(水) 13:30~15:30(予定)